

プレスリリース

2020年10月21日  
国境なき医師団（MSF）

## 国境なき医師団 人道援助をめぐる諸問題を共に考える 「人道援助コンGRESS東京 2020」を開催

国境なき医師団（MSF）は、人道援助をめぐる諸問題を共に考える会議、「人道援助コンGRESS東京 2020」を11月26日～27日にオンライン開催します。日本で初開催となる今回は、「コロナ禍における人道援助とその課題」をテーマに、人道援助にかかわる各界の識者が、医療施設への攻撃や、新型コロナワクチンなど医薬品の分配問題、長期化するイメン危機といった議題について発表・討議します。

現在世界では、紛争の長期化、難民・国内避難民の増加、気候変動や新型コロナウイルスといった感染症の流行などにより、人道援助の形態は多様化し、必要とされる資金や人員も増大しています。また、自国第一主義の台頭、対テロ政策、国境封鎖による難民受け入れの停滞などにより、人道援助の実施がより困難な状況に直面しています。

このような状況では、人道主義や「独立・中立・公平」の原則に基づいた人道援助のあり方を再認識することが、非常に重要となっています。MSFは、これまでドイツ、オーストリアにおいて「人道援助コンGRESS（Humanitarian Congress）」を他団体とともに開催してきましたが、今回、日本で初開催するにあたり、人道援助をめぐる諸問題を共に考える場をつくり、国内でも議論を深めていくことを目指します。

人道援助コンGRESSは、主に国際協力にかかわる関係者（実務者、研究者等）間の対話を目的とする場ですが、国際協力分野の学生をはじめ、人道援助に関心を持つすべての方が参加可能です。

### <開催概要>

- 日時： 11月26日（木）17:00-21:30  
11月27日（金）17:00-21:40
- 言語： 日英同時通訳あり
- 募集人数： 500人
- 参加費： 無料
- 詳細・申し込み： <https://www.msf.or.jp/congress>
- 申し込み締め切り： 11月20日（定員に達した場合早期終了となる可能性があります）
- 問い合わせ： [jindo@tokyo.msf.org](mailto:jindo@tokyo.msf.org)

## <プログラム>

### 11月26日(木)

**17:00-18:30**

#### **プレセッション：MSFによる人道医療援助の実践と直面する危機**

人道援助の原則に則り活動するMSFによる安全確保の実践と、現在直面する課題（対テロ政策の人道援助への影響等）について紹介する

発表者：村田 慎二郎（MSF 日本事務局長）

ゲストスピーカー：レシュマ・アダティア（MSF インターナショナル 人道・外交担当代表）

**19:00-19:20**

#### **オープニング**

開会挨拶：久留宮 隆（MSF 日本会長）

**19:30-21:30**

#### **セッション1：医療施設に対する攻撃**

紛争下で医療施設・医療従事者が標的になる問題に加え、感染症が巻き起こす不信や不安による暴力も起きている。その現状と課題、国際的な取り組み等について発表・討議する

パネリスト：

マーチエイ・ポルコウスキ（赤十字国際委員会 Health Care in Danger プロジェクト統括）

レオナルド・ルーベンスタイン（Safeguarding Health in Conflict Coalition 代表）

村田 慎二郎（MSF 日本事務局長）

モデレーター：古谷 修一（早稲田大学大学院法務研究科教授）

### 11月27日(金)

**17:00-19:00**

#### **セッション2：新型コロナウイルスワクチン・治療・検査への公平なアクセス**

「ワクチン・ナショナリズム」が過熱する中、途上国や人道援助対象者にも薬やワクチンが届くよう、公平な分配のための国際的な枠組みについて考える

パネリスト：

シルヴィ・ブリアン（医師、世界保健機関<WHO> 感染リスク管理—エpidemick・パンデミック疾患対策部ディレクター）

MSF アクセス・キャンペーン他

モデレーター：

クララ ファン・ヒューリック（小児科医、インターナショナル・ガイドライン・プロダクション、MSF インターナショナル）

**19:30-21:30**

|  |
|--|
| <b>セッション3：イエメンの人道状況</b><br>紛争の長期化、援助資金の減少、新型コロナ出現により、人道危機はさらにひっ迫した状況となっているイエメン。現在の状況について討議を行う                    |
| パネリスト：<br>佐藤 寛（日本貿易振興機構<JETRO>アジア経済研究所 上席主任調査研究員）<br>大垣 友貴美（国連世界食糧計画<WFP> イエメン事務所）<br>落合 厚彦（元 MSF イエメンプロジェクト責任者） |
| モデレーター： 藤谷 健（朝日新聞 編集担当補佐）  |

**21:30-21:40**

|                      |
|----------------------|
| <b>クロージング</b>        |
| 閉会挨拶：久留宮 隆（MSF 日本会長） |

**<人道援助コンGRESS東京 公式ロゴ>**



**国境なき医師団について**

民間で非営利の医療・人道援助団体。紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機に瀕する人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けている。現在、世界約70の国と地域で、医師や看護師をはじめ4万5000人のスタッフが活動（2019年実績）。1971年にフランスで設立、1992年には日本事務局が発足した。日本国内では、援助活動に参加する人材の採用・派遣、人道危機や医療ニーズを伝える証言・広報活動、現地医療活動を支える資金調達などを行っている。


以上

**本件に関するお問い合わせ先：**

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平

TEL：03-5286-6141 携帯：080-2344-0684 FAX：03-5286-6124

E-mail: [press@tokyo.msf.org](mailto:press@tokyo.msf.org) <http://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ\_Press